

CIMB グループホールディングス (CIMB)

交通系ICカードのタッチアンドゴーは生活の様々な料金の支払い・決済に利用されるスーパーアプリとして普及

マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

BLOOMBERG CIMB:MK | REUTERS CIMB.KL

- 2019/12 通期は、営業収益が前期比 8.2%増、引当金計上営業利益が同 6.4%増、当期利益が同 7.7%増だった。
- セグメント別の税引き前利益では、消費者向け銀行業務が同 26.3%減だったものの、商業銀行業務が同 87.1%増と伸びた。
- 交通系 IC カードのタッチアンドゴーは生活の様々な料金の支払い・決済に利用されるスーパーアプリとして更なる普及が見込まれる。

What is the news ?

2/28発表の2019/12通期は、営業収益が前期比8.2%増の177.96億MYR、引当金計上営業利益が同6.4%増の82.95億MYR、当期利益が同7.7%増の50.14億MYRとなった。営業収益の内訳は以下の通り。純金利収益は、純金利マージン (NIM) が同0.04%ポイント低下の2.46%となったものの貸出の伸びに支えられ、同6.3%増の126.59億MYR。非金利収益は資本市場の好転に支えられて同12.9%増の51.37億MYR。費用面では、営業費用が投資および2023年度までの中期経営計画 (フォワード23) 関連費用の計上により同9.8%増の95.01億MYR、経費率 (CIR) が同0.08%ポイント悪化の53.4%、貸倒引当金繰入額が同14.5%増の16.39億MYRとなるなど嵩んだものの、当期利益の増益を確保した。

貸出残高は前期比6.7%増、預金残高は同2.0%増だった。不良債権に対する引当金カバレッジ比率が法定準備金を含むベースで同6.7%ポイント低下の99.6%、GIL (グロスの不良債権比率) が同0.2%ポイント悪化の3.1%となった。また、セグメント別の税引き前利益は、消費者向け銀行業務が同26.3%減の19.59億MYRだった一方、商業銀行業務が同87.1%増の16.09億、ホールセール銀行業務が同5.1%増の19.28億MYR、投資先ベンチャー集団・パートナーシップおよびファンド業務が同22.0%増の11.22億MYR、イスラム金融業務は同25.6%増の16.41億MYRだった。

How do we view this ?

2020/12通期の会社計画は、ROE (株主資本利益率) が9.0-9.5% (前期実績 : 9.3%)、総貸出残高が前期末比6.0%増 (同 : 6.7%増)、貸倒損失比率が0.40-0.50% (同 : 0.44%)、普通株式等Tier1に係る自己資本規制比率 (CET1) が12.0%超 (同 : 12.9%)、経費率が53.4% (同 : 53.4%) である。同社はマレーシア国内で首位の電子ウォレット企業であるタッチアンドゴー・デジタルを完全子会社化しており、2019/12末の登録ユーザー数が前四半期末比26%増の680万人、年当たりアクティブユーザー数が同10.5%増の420万人と急成長中である。ICカードのタッチアンドゴーは日本におけるJR東日本のSuicaのように、交通系カードでありながら交通機関の運賃の支払いにとどまらず様々な料金の支払いなどに広く利用されており、マレーシアを代表するスーパーアプリとして普及している。2020/12通期の市場予想は、当期利益が同10.0%増の50.17億MYR。

業績推移

※参考レート 1MYR=24.61円

| 事業年度 | 2017/12 | 2018/12 | 2019/12 | 2020/12F | 2021/12F |
|--------------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 当期利益 (百万MYR) | 4,475 | 5,583 | 4,559 | 5,017 | 5,441 |
| EPS (MYR) | 0.50 | 0.60 | 0.47 | 0.51 | 0.55 |
| PER (倍) | 7.08 | 5.90 | 7.53 | 6.94 | 6.44 |
| BPS (MYR) | 5.23 | 5.37 | 5.67 | 5.99 | 6.26 |
| PBR (倍) | 0.68 | 0.66 | 0.62 | 0.59 | 0.57 |
| 配当 (MYR) | 0.25 | 0.25 | 0.26 | 0.28 | 0.30 |
| 配当利回り (%) | 7.06 | 7.06 | 7.34 | 7.91 | 8.47 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) **0.28** (予想はBloomberg)
 終値 (MYR) **3.54** 2020/3/16

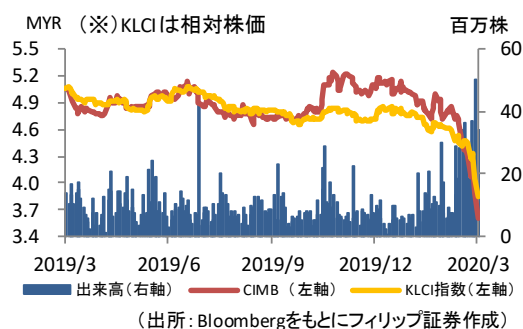
会社概要

1924年に創業したプミプトラ商業銀行が南銀行と合併して誕生。CIMBとは、Commercial International Merchant Bankers (商業国際貿易商銀行) の略である。マレーシアではメイバンクに次ぐ規模の金融グループであり、世界のイスラム金融でもトップクラスのユニバーサルバンクである。

主な業務は、コーポレートバンキング、投資銀行業、リテール銀行業、トレジャリー、保険、資産管理などである。2019年12月末現在、約35,000人の従業員と150万人以上の顧客を擁し、アセアンのほか中国、香港、インド、スリランカ、韓国や米国、英国など15カ国で展開している。

企業データ (2020/3/17)

ベータ値 1.17
 時価総額 (百万MYR) 35,227
 企業価値=EV (百万MYR) -
 3か月平均売買代金 (百万MYR) 64.6



主要株主 (2020/3)

(%)

1. カザナ・ナショナル 23.77
 2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD 13.87
 3. KUMPULAN WANG PERSARAAN 6.59

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>